

特別の教科 道徳

「特別の教科 道徳」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること
- 2 道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと
- 3 教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること
- 4 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること
- 5 生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう、工夫・配慮がなされていること
- 6 系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること
- 7 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること

特別の教科 道徳

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新訂 新しい道徳 1」「新訂 新しい道徳 2」「新訂 新しい道徳 3」

各教材の冒頭に、生徒に投げかけるような表現で考えるテーマが示されるとともに、適宜1～2コマ漫画を導入部分に掲載することで主題が捉えやすい。また、各教材末には「考えよう」と「自分を見つめよう」の発問が段階的に提示されることで、生徒が主体的に学習を進めやすく、考え、議論する手立てとなっており、よく工夫されている。

各学年に、2時間連続した問題解決的な学習や、役割演技等の体験的な学習を行う「ACTION!」が複数用意されるとともに、イラストや写真、ワークシート形式で学習の流れが示されるなど、多様な指導方法により、生徒が道徳的価値の理解を深めたり、発展させたりする工夫に優れている。また、本教材に関連した特設ページ「PLUS」では、詩・歌、格言、教材の関連資料等が幅広く紹介されているとともに「探究の対話 p4c」として、対話を通して他者と問いを共有し、様々な視点から考えを深めていく活動が取り入れられるなど、工夫されている。また、多様な見方や考え方を促すため、同じ視点の内容で異なる教材が連続して複数配置されるなど、生徒が幅広い視野から、より深く考えられるようよく工夫されている。

各学年の巻頭に、「話し合いの手引き」「司会カード」として、話し合い活動の手順やルール等が提示されており、学習の流れを掴みやすい。また、巻末の思考ツール「心情円」を用いて、生徒が自分の考えを表し、対話する活動につなげられるよう工夫されている。

現代的な課題に関する教材については、様々なテーマがバランスよく取り扱われており、特に、いじめ問題の教材では「いじめのない世界へ」「いのちを考える」として、複数教材を組み合わせたユニットを構成しており、ユニット以外にも異なる内容項目で関連教材が複数配置されるなど、いじめ問題と生命の大切さについて重層的な学びにつながるよう工夫されている。

各教材には1箇所、生徒が感じたことや考えたことについて自由に書き込めるメモ欄が用意されている。また、各学年巻頭には、「今の気持ちを書き留めておこう」というコーナーが設けられるとともに、巻末には、1年間の学びを振り返るための特設ページが用意されるなど、話し合い活動や振り返り活動等で幅広く活用できるようよく工夫されている。

■教育出版「中学道徳1 とびだそう未来へ」「中学道徳2 とびだそう未来へ」

「中学道徳3 とびだそう未来へ」

各教材の冒頭には、教材名と疑問文の形で意識付けを行うための導入文がわかりやすく提示されている。また、各教材末には、「学びの道しるべ」として、道徳的価値の理解を深め、自己を見つめる発問が3問用意されており、導入文と併せて連携させることで、生徒自身が考えの変化を実感しやすく、自我関与を促したり、グループ活動や意見交換・話し合い活動を取り入れたりするなど、考え、議論する学習活動が進めやすい。

各学年とも、問題解決的な学習とともに、特設ページ「やってみよう」とする体験的な活動が複数用意されており、生徒が日常の体験を想起しながら、多様な指導方法を用いて考えを深められるよう工夫されている。また、本教材と同じ内容項目を異なる視点から扱う読み物資料など補充教材

が複数用意されている。また、現代的な課題をテーマとする特設ページやコラムが適宜配置されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう工夫されている。

現代的な課題に関する教材について、特に、伝統と文化に関する教材が豊富で、異なる道徳的価値を扱う教材を組み合わせで配置するなど構成が工夫されており、補充教材も複数用意されている。また、各学年巻末には、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」として、地域のために尽くした人々から学ぶ特設ページが用意されるなど、地域に愛着が持てるよう工夫されている。

各学年巻頭に、自分のことなどを自由に記述する欄、巻末には毎時間の記録や学期毎の学びを振り返るための特設ページに加えて、巻末に「これからを生きる皆さんへ」というメッセージが用意されているなど、生徒が自らの成長を実感しやすいようよく工夫されている。

■光村図書出版「中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき」「中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき」「中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき」

各教材に示される主題名、学習のめあて、2種の発問を関連させながら、考えを深められるよう構成されている。また、「見方を変えて（多面的・多角的な見方・考え方）」「つなげよう（学びの広がり・深化）」が、わかりやすく区別して設定されており、道徳的価値について生徒が段階的に考えを深められるようよく工夫されている。

各教材の「手引き」に、問題解決や体験的な学習を促す発問が複数用意されているとともに、切り口を変えた問いや他教科・教材等の関連が示されるなど、多様な学習につながりやすい。また、特設ページ「深めたいむ」では、授業の学びと生活をつなげて考えることで、多面的・多角的に考えを深められるようよく工夫されている。

現代的な課題に関する教材について、教材と教材、教材とコラム「広げよう」等をつなぐことで、自己の考えを多様に深められるよう構成されている。また、環境、国際理解等の教材は、特設ページとの組み合わせで重点化が図られるなどよく工夫されている。

各学年巻末に「道徳の学びを振り返ろう」として、生徒が学びを振り返り、自らの成長やこれからの生き方を見つめる教材と活動が用意されている。また、巻末の折込資料には、毎授業の学びをつなげて記録し、学期末や学年末に振り返るシートに加え、1年間の学びを振り返る「学びの記録」が用意されるなど、優れている。

1年間を3シーズンに分け、学校生活の流れや生徒の成長過程を踏まえ、シーズンごとのテーマを設定し、全ての教材を内容項目をもとにユニット化して配置することで、1時間の学びを単独ではなく、関連する内容項目同士が有機的に結びつくよう構成されているが、ユニットの効果を損ねないように、各校の実態に合わせて年間計画の組み直しや教材の組み替え等が行いにくい面がある。

■日本文教出版「中学道徳 あすを生きる 1」「中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート」
「中学道徳 あすを生きる 2」「中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート」
「中学道徳 あすを生きる 3」「中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート」

各学年の巻頭に、「学びをより深めるための手立て」として、道徳科の学習の流れとともに、実際の生徒の活動場面の写真を用いてわかりやすくまとめられている。また、本冊の各教材には、主題に加え、登場人物の顔写真やイラストが提示されており、生徒の教材理解を助けているとともに、

「考えてみよう」として、考え、議論し、道徳的価値に迫るための発問と「自分に＋１」として、自分に問いかけ、これからの生き方に前向きに生かすための発問が段階的に設定されるなど、主体的に学習が進められるよう工夫されている。

問題解決的な学習や体験的な学習が設定される教材の後に、特設ページ「学習の進め方」を用意し、実際の生徒の活動場面の写真とともに、「学習を深めるヒント」「考えを深める視点」が示されることで、生徒が活動のイメージを持って、多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されており、優れている。また、生き方のヒントや応援メッセージが掲載されるコラム「私の生き方」が適宜教材と関連付けて配置されるなど、多様な見方・考え方を促し、より深く考えられるようよく工夫されている。

各学年に用意されている別冊「道徳ノート」については、本冊の発問に対する自分の思いや考えを書くための欄が設けられている。また、各学年巻頭の今の自分について書くページと併せて、巻末には、学期ごとに学んだことを振り返る記録ページが設けられているが、教科書本冊は右開き、別冊「道徳ノート」は左開きのため、使いにくい印象である。

現代的な課題等については、各学年で発達段階に応じた設定されたテーマごとに、複数教材とコラムを組み合わせでユニット化されている。特に、いじめ問題を扱った教材では、直接教材と間接教材を組み合わせで、多面的に考えられるよう工夫されているが、学年間で教材の配置にバランスを欠く面がある。

■学研教育みらい「新・中学生の道徳 明日への扉 １」「新・中学生の道徳 明日への扉 ２」 「新・中学生の道徳 明日への扉 ３」

各教材の冒頭に、主題名を示さない代わりに、生徒自らの気付きや考えを促すキーワードが用意されており、学習に取り組みやすい。また、各教材末には「考えよう」として道徳的価値に迫るための発問や、自己を見つめる発問等が複数設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。

各学年で複数設定される「深めよう」で、問題解決的な学習や体験的な学習が提案されているとともに、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」などの問題提起を伴う段階的な学習活動によって、話し合いの必然性が生み出されている。また、グラフや表などの思考ツールや役割演技等の多様な活動が用意されており、生徒が主体的に道徳的価値の理解を深められるようよく工夫されている。さらに、教材理解を深める関連資料や、メンタルトレーニングや情報モラル等の教材とは異なる視点や関連情報が紹介される特設ページが豊富に用意されており、多様な見方や考え方を促し、生徒の生き方の選択肢を広げ、道徳科の学習を日常生活に生かせるよう工夫されている。

「いのちの教育」を全学年の重点テーマとし、さらに独自のテーマとして「地球と地域の未来のために」「夢に向かって輝く」が設定されている。現代的な課題等については、特に、情報社会でよりよく生きるための基になる考え方や態度の育成に重点が置かれており、情報モラルについては、学年毎に自分自身、友人、社会とする発達段階に応じたテーマを設定し、系統的に学びを深められるよう特設ページとのユニット化を図った教材が３年間を通して配置され、学習の重点化及び多面的・多角的に学習が進められるよう工夫されている。

各教材には「メモ」として自由記述欄が用意されているとともに、各学年巻頭の今の自分のことを書く特設ページや、巻末の心に残ったことなどを折々に記入する「心の四季」、学びを振り返る

「学びの記録」など、生徒の事前学習、話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用することが可能であり、構成の工夫に優れている。

- 廣済堂あかつき「中学生の道徳 自分を見つめる１」「中学生の道徳ノート 自分を見つめる１」
「中学生の道徳 自分を考える２」「中学生の道徳ノート 自分を考える２」
「中学生の道徳 自分をのばす３」「中学生の道徳ノート 自分をのばす３」

各教材末の「考える・話し合う」に、学習を広げたり、深めたりする動機付けとなる問いが複数設定されるなど、丁寧に教材理解を進め、登場人物の心情理解を深め、自分自身と向き合い考えを深められるよう工夫されているが、教材冒頭には教材名しか示されておらず、本時のねらいも教材末の「学習の手がかり」にしか示されていないため、生徒にとって見通しをもって学習に取り組むづらい面がある。

各学年に用意されている別冊「道徳ノート」には、本冊教材の発問とは異なる内容項目に迫った深みのある発問が系統的に提示されるとともに、発達段階に応じたわかりやすい言葉で内容項目が解説されている。また、様々な切り口から内容項目への理解を深めるための活動や関連データ、図、グラフ、名言等が豊富に掲載されており、具体的な数値から現状と未来について考えさせたり、授業の事前事後、導入・終末などに柔軟に活用したりすることで、多面的・多角的な学びとなるようよく工夫されている。

現代的な課題等については、特に生命尊重といじめ防止・人権尊重が重点とされており、教材や特集ページなどを複数組み合わせ、重層的な学びにつながるよう工夫されている。生命の尊さに関する教材は各学年３時間配当されており、いじめ防止は直接的に扱った教材と様々な内容項目の学習と関連させながら考える特集を設けたりするなど、生徒自身が自分ごとと捉える中で多面的・多角的に考えられるよう構成されている。

また、別冊「道徳ノート」巻頭には、今の自分のことを書くページが設けられているとともに、巻末には、毎時間の授業の記録と併せて、各学期や１年間の振り返りと毎授業の自己評価を記入するページが設けられるなど、書く活動が充実している。また、事前学習や話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用することができる構成で優れている。

- 日本教科書「道徳 中学１ 生き方から学ぶ」「道徳 中学２ 生き方を見つめる」
「道徳 中学３ 生き方を創造する」

各学年の巻頭に、「道徳科って何を学ぶの？」として、道徳科の学習のあり方が写真やイラストを用いて示されているが、各教材に主題等が示されていない。また、各教材に、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」として、考え、議論することを促す発問が複数設定されているが、用意される発問数が１つしかない教材があり、発問内容も学びの深まりにつながらないものが多いなど、手立てが弱い。

本教材とコラムを関連させ、多様に考えを巡らせるよう促したり、「もっと知りたい」「考えてみよう」などの特設ページで話し合い活動を促したりすることで、多様な見方や考え方につながるよう構成されている。一方、問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が複数用意されているものの、具体的な学習の手立てが少なく、生

徒にとって使いづらい。

現代的な課題に関する教材について、本教材と特設ページ「もっと知りたい」「話してみよう」等を組み合わせて、学びを深めることを促しており、多面的・多角的に学習できるよう構成が工夫されている。特に、伝統文化に関する教材等が豊富で、特設ページで日本各地の題材を取り上げられるなど、生徒の関心を高めながら、学習に取り組めるよう工夫されている。

各学年巻頭に、今の自分のことを書く欄が用意されるとともに、巻末の特設ページには、生徒が1年間の学習を振り返り、これからの自分の生き方について考えることができるよう構成されているとともに、3年生の巻末には「あしたへ」というメッセージ性のある詩が掲載されるなど、新たな旅立ちにつながるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教出版	学研教育みらい	あかつき	日本教科書
1	発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 適切なねらいの設定およびねらいに迫るための発問等の工夫	○	○	○	○	○	△	△
		2 自己を見つめ、考えを深めることができるような振り返り活動やまとめの工夫	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
2	道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと	1 道徳的価値を広い視野から多面的・多角的に学ぶための工夫	◎	○	◎	○	○	◎	△
		2 主体的・対話的な学習に向けた言語活動の工夫	○	○	○	○	○	○	○
		3 問題解決的な学習、体験的な学習等の多様な指導方法の工夫	◎	○	◎	◎	◎	○	△
3	教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること	1 多様で適切な挿絵や写真、イラスト等の充実	○	○	○	○	○	○	○
		2 多様な見方・考え方ができるような工夫・配慮	◎	○	○	◎	○	○	○
4	生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること	1 現代的な課題を題材とする教材の適切な取扱い	◎	○	○	○	○	○	○
		2 現代的な課題に対して多様な考えをもち、感動を覚えるような工夫	◎	○	◎	△	○	○	○
5	生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう、工夫・配慮がなされていること	1 生命の尊さ、人間尊重の精神を培うための工夫	○	○	○	○	○	○	○
		2 法やきまりの意義、人間関係の理解や課題について深く考えられる工夫	○	○	○	○	○	○	○
		3 悩みや葛藤等、よりよく生きる喜びや勇気について深く考えられる工夫	○	○	○	○	○	○	○
6	系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1 教材の系統性・発展性	○	○	△	○	○	○	△
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	○	○	△
		3 他校種との連携	○	○	○	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○	○	○	○
7	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○	△
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	△	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○	△

【特別の教科 道徳】観点別資料

【選定の観点 1】

発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○各学年に漫画を用いた短い読み物教材で実際の授業場面で紹介されるなど、生徒が道徳科の授業の目的や流れを確認し、自分の考えを深めるイメージを持ちやすい。	○各学年に定められたテーマに沿った挿絵を用いて、「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つの学習の段階が示されており、生徒が道徳科の授業のイメージを持ちやすい。	○各学年に道徳科で何をどのように学ぶのが学習方法と併せて、挿絵を用いてわかりやすく示されており、生徒が道徳科の授業のイメージを持ちやすい。	○各学年に漫画と写真を用いて道徳科の授業で自ら考え、学びを深めるための手立てが示されており、生徒が道徳科の授業のイメージが持ちやすい。	○道徳科で学ぶこと、考えることが各学年別に紹介されており、挿絵を用いて「考えを深める四つのステップ」を紹介するなど、生徒が道徳科の授業のイメージが持ちやすい。	○道徳科で考えること、話し合うこと、書くことの意味が各学年別に紹介されており、生徒が見通しを持って学習できるよう構成が工夫されている。	○道徳科の授業の流れが写真やイラストを用いてまとめられているが、全学年で共通した内容で、生徒が学習の見通しやイメージを持つための手立てとしてやや弱い。
○各教材で、生徒に投げかける表現で考えるテーマが示されるとともに、各学年の複数教材では、振り返り活動にも活用できる漫画が導入部分に適宜用意されるなど、生徒の興味を高めている。また、各教材末には、中心発問である「考えよう」と「自分を見つめよう」とする2つの発問が用意されるなど、よく工夫されている。	○各教材の冒頭に、疑問文の形で意識付けを行うための導入文が示されている。また、各教材末の「学びの道しるべ」には、道徳的価値の理解を深め、自己を見つめる発問が3問用意されており、導入文と併せて連携させることで、生徒が考えの変化を実感しやすく、段階的に考えを深められるよう構成されている。	○各教材に示される主題名、学習のめあて、2種の発問を関連させながら、考えを深められるよう構成されている。また、「見方を変えて（多面的・多角的な見方・考え方）」「つなげよう（学びの広がり・深化）」が、わかりやすく区別して設定されており、道徳的価値について生徒が段階的に考えを深められるようよく工夫されている。	○各教材に、主題名に加え、登場人物の顔写真やイラストが提示されており、教材理解を助けている。また、「考えてみよう」として、道徳的価値に迫るための発問と「自分に＋1」として、自己を見つめる発問が2問設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。	○各教材の冒頭に、主題名を示さない代わりに、生徒自らの気付きや考えを促すキーワードが用意されており、学習に取り組みやすい。また、各教材末には「考えよう」として道徳的価値に迫るための発問や、自己を見つめる発問等が複数設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。	○各教材末の「考える・話し合う」に、学習を広げたり、深めたりする動機付けとなる問いが複数設定されるなど、生徒が考えを深められるよう工夫されている。一方で、教材冒頭には教材名しか示されており、本時のねらいも教材末にしか示されていないため、生徒が見通しをもって学習に取り組みづらい面がある。	○各教材に、主題等が示されておらず、生徒が教材の内容を捉えにくくなっている。また、各教材に、「考え、話し合ってみよう」として、発問が用意されているが、用意される発問数が教材ごとに異なり、1間の教材もあるなど、生徒にとって使いづらく、段階的な学びの手立てとして弱い。
○各教材に「つぶやき」として、生徒が自分の考えや思いを自由に記述する欄が用意されている。また、各学年の巻頭には、今の自分の気持ちを書き留めおく記述欄が、巻末には、1年間の自分の学びを振り返るための記述欄が特設ページに用意されるなど、事前学習、話し合い活動、振り返り活動等で、幅広く活用でき、優れている。	○各学年巻頭に自分のことなどを自由に記述する欄が設けられている。また、巻末には、毎授業の記録や学期毎の学びを振り返るための特設ページが用意されており、生徒が自らの成長を実感しやす。また、各学年の巻末に「これから生きる皆さんへ」というメッセージ性のある特設ページが用意されるなどよく工夫されている。	○各学年巻末に「道徳の学びを振り返ろう」として、生徒が学びを振り返り、自らの成長やこれからの生き方を見つめる教材と活動が用意されている。また、巻末の折込資料には、毎授業の学びをつなげて記録し、学期末や学年末に振り返るシートに加え、1年間の学びを振り返る「学びの記録」が用意されるなど、優れている。	○別冊「道徳ノート」の各学年巻頭に、生徒が今の自分のことを書くページが設けられている。また、別冊ノート「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」として、学期ごとに学んだことを振り返る記録ページが設けられており、毎授業の記録欄と併せて、事前学習や振り返り活動等で幅広く活用できるよう工夫されている。	○各教材に、「メモ」として自由記述欄が用意されている。また、各学年の巻頭には、生徒が今の自分のことを書く特設ページが、巻末には、心に残ったことなどを折々に記入する「心の四季」と学びを振り返る「学びの記録」が用意されるなど、事前学習、話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用でき、優れている。	○別冊「道徳ノート」の各学年巻頭に、生徒が自分のことを書くページが設けられている。また、巻末には、各学年や1年間の振り返りと毎授業の自己評価を記入するページが設けられており、また、書く活動が充実しているなど、事前学習、話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用でき、優れている。	○各学年の巻頭に、今の自分のことを書く欄が設けられている。また、巻末の特設ページには、生徒が1年間の学習の振り返り、これからの自分の生き方について考えることができるよう構成されている。3年生の巻末には「あしたへ」というメッセージ性のある詩が掲載されるなど、新たな旅立ちにつながるよう工夫されている。

【選定の観点2】

道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○各教材には学習テーマが示されており、また、複数の教材では主題に関連する1～2コマ漫画が掲載されるなど、導入で主題が捉えやすい。また、中心発問等と関連させて終末の振り返りで活用することで、多面的・多角的な学習を促し、生徒が道徳的価値への理解を深め、考え、議論する手立てとなるようよく工夫されている。 ○各学年の巻頭に、「話し合いの手引き」「司会カード」として、話し合い活動の手順やルール等が示されており、生徒が学習の流れを掴みやすい。また、巻末の思考ツール「心情円」を用いて、生徒が自分の考えを表し、対話する活動につなげられるよう工夫されている。 ○各学年に、2時間連続した問題解決的な学習や、役割演技等の体験的な学習を行う「ACTION!」が複数用意され、イラストや写真、ワークシート形式で学習の流れが示されるなど、多様な指導方法により、生徒が道徳的価値の理解を深めたり、発展させたりする工夫に優れている。	○各教材に用意される「学びの道しるべ」では、教材ごとに3段階の発問が設定されており、導入文と併せて自己を見つめたり、自我関与を促したり、グループ活動や意見交換、話し合い活動を取り入れたりするなど、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるよう工夫されている。 ○各学年の巻頭に、「道徳科で学びを深めるために」として、学習の流れとともに、意見を出し合うイラストが掲載されるなど、自分の考えを深めることをイメージして、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。 ○各学年に、問題解決的な学習や、「やってみよう」とする体験的な学習が複数設けられており、生徒が日常の体験を想起しながら、多様な指導方法を用いて、考えを深められるよう工夫されている。	○各教材の「手引き」において、学習のめあて、複数の発問が示されており、まとめ活動も設定されている。また、「見方を変えて」「つなげよう」として、切り口を変えた問いや他教科・教材等との関連が示されるなど、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるようよく工夫されている。 ○各学年の巻頭に、「道徳の時間を始めよう!」として、他者と学ぶことの大切さについてわかりやすくまとめられており、生徒が話し合い活動等の学習のイメージが持ちやすく、主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。 ○各教材の「手引き」に、問題解決や体験的な学習を促す発問が複数用意されており、多様な学習につながりやすい。また、特設ページ「深めたいむ」では、生徒が授業の学びと生活をつなげて考えることで、多面的・多角的に考えを深められるよう、よく工夫されている。	○みんなで考え議論するための「考えてみよう」、これからの自分にどう生かすかを考える「自分に+1」という2つの活動・発問が各教材で設けられており、教材理解や話し合い活動等をもとに、生徒が道徳的価値を多面的・多角的に学び、考えを深められるよう工夫されている。 ○各学年の巻頭に、「学びをより深めるための手立て」として、道徳科の学習の流れとともに、実際の生徒の活動場面の写真を用いてわかりやすくまとめられており、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を設定する教材の後に、特設ページ「学習の進め方」が用意され、実際の生徒の活動場面の写真とともに、「学習を深めるヒント」「考えを深める視点」で、生徒が多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されており、優れている。	○教材に適宜設定されている特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」では、教材理解を深める関連資料や、異なる視点から複数の関連資料等が用意されており、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるよう工夫されている。 ○各学年の巻頭に、「考えを深める四つのステップ」として、話し合い活動や振り返り活動等がイラストを用いて、モデル的にわかりやすく示されており、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。 ○各学年で複数設定される「深めよう」で、問題解決的な学習や体験的な学習が提案されている。また、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」など、段階的な学習活動の中で、思考ツールや役割演技等の多様な活動が用意されており、生徒が道徳的価値の理解を深められるようよく工夫されている。	○各教材の「考える・話し合う」で、自我関与に関する問い、思考を促す問い、物事を多面的・多角的に捉えるための問いなど複数の問いが設定されている。また、別冊ノートに掲載される内容項目の解説は、生徒が多面的・多角的に考えるための資料も豊富で、幅広く活用できるなど、優れている。 ○各学年の巻頭に、道徳科の授業の目的とともに、考え、話し合い、書く活動等を通して、自己理解を深めていくことの大切さがわかりやすく解説されているなど、生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が数多く設けられており、多様な指導方法を用いて、生徒が道徳的価値の理解を深められるよう工夫されている。	○特設ページ「考えてみよう」「話してみよう」等で、多面的・多角的な思考が促されている。また、各教材に、「考え、話し合ってみようそして深めよう」と、生徒が考え、議論するための発問が複数設定されているが、用意される発問数が1つしかない教材があり、発問内容も学びの深まりにつながらないものが多いなど、手立てが弱い。 ○各学年の巻頭に、「道徳科って何を学ぶの?」として、道徳科の学習のあり方が図を用いて示されており、生徒が学習のイメージを持って、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が複数用意されているものの、具体的な学習の手立てが少なく、生徒にとって使いづらい。

【選定の観点3】

教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○表情豊かで、ダイナミックな構成の写真やイラストが豊富に用いられており、生徒が人物の心情を捉えたり、教材の内容理解を深めたりしやすいよう工夫されている。	○大きめの挿絵に加え、写真やイラストも適切な分量である。また、余白を調整することで、生徒にとって見やすい紙面となるよう工夫されている。	○生徒の興味・関心を喚起する漫画方式の教材や新聞記事、絵本を転写した教材や、親しみを感じるイラスト等を用いることで、学習に取り組みやすい。	○教材や内容ごとに色を使い分けたり、別冊ノートの書く欄には、本冊教材と同じ挿絵や写真を掲載したりすることで、生徒が本文の内容を想起できるよう工夫されている。	○写真やイラストが豊富で、色使いも鮮やかで柔らかな印象であるとともに、文字もすっきりしているなど、生徒にとって見やすいよう工夫されている。	○挿絵やイラスト等が強調されすぎず、シンプルかつ適切に配置されており、写真や文字もすっきりした印象を与えるよう構成されている。	○表・裏表紙とも印象的な日本の風景写真が採用されており、挿絵等もシンプルで文字もすっきりした印象を与えるよう構成されている。
○本教材に関連した特設ページ「PLUS」では、詩・歌、格言、教材の関連資料等が幅広く紹介されているとともに、「探究の対話 p4c」として、対話を通して他者と問いを共有し、様々な視点から考えを深めていく活動が取り入れられるなど、工夫されている。また、多様な見方や考え方を促すため、同じ視点の内容で異なる教材が連続して複数配置されるなど、生徒が幅広い視野から、より深く考えられるようよく工夫されている。	○本教材と同じ内容項目を異なる視点から扱う読み物資料など補充教材が5本用意されている。また、現代的な課題をテーマとする特設ページやコラムが適宜配置されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう工夫されている。	○各教材の「つなげよう」で、他の教材との比較・関連といったアプローチから学習した内容を多面的に考察することが提案されている。また、特設ページ「広げよう」では、現代的な課題についての学びを広げるコラムが適宜用意されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう工夫されている。	○各教材末に「自分に+1」として、学習した内容を自分に対して問いかけ、これからの生き方に前向きに活かしていけるような発問が用意されているとともに、教材とコラム「参考」「プラットホーム」を組み合わせることで、生徒が多様な視野から考えを深められるよう工夫されている。さらに、生き方のヒントや応援メッセージが掲載されるコラム「私の生き方」が、適宜教材と関連付けて配置されるなど、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く考えられるようよく工夫されている。	○特設ページ「クローズアップ」「クローズアッププラス」「深めよう」では、同じ道徳的価値を異なる視点から紹介されたり、異なる複数の意見や考え方が示されたり、教材の内容理解をさらに深められる関連資料が用意されたりするなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう工夫されている。	○各教材末に、教材内容に関連する先人・著名人の名言等が紹介されている。また、別冊ノートには、内容項目を深めるための関連データ、図、グラフ等の資料が豊富に掲載されており、具体的な数値から現状と未来を考えるなど、生徒が多様な視野から考えを深められるよう工夫されている。	○本教材とコラムを関連させ、多様に考えを巡らせるよう促したり、「もっと知りたい」「考えてみよう」などの特設ページで話し合い活動を提案したりすることで、生徒が多様な視野から考えを深められるよう工夫されている。

【選定の観点 4】

生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○生命の尊厳、社会参画、自然、情報モラル、防災、キャリア教育、環境、国際理解、児童労働等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、役割演技や自分とは異なる立場を想像して文章化したり、複数の意見を聞いたりするなど、様々な学習活動を通じて、多様な考えに触れ、生徒が自分の考えを深めることができるようよく工夫されている。 ○特に、いじめ問題の教材では、いじめ問題対応ユニットと生命尊重ユニットを設定し、複数教材を組み合わせ学習できる構成となっており、いじめ問題と生命の大切さについて多面的・多角的に考えられるように工夫されている。また、ユニット以外にも異なる内容項目で関連教材が連続して配置されるなど、生徒にとって重層的な学びにつながるようよく工夫されている。	○いじめ問題、生命の尊さ、キャリア教育、SDG s、伝統文化、情報モラル、防災、LGBT等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、各教材の「学びの道しるべ」の発問で、自己の考えを深めたり、活動を通して学びを深めたりすることが促されており、生徒が多面的・多角的に学習できるよう構成が工夫されている。 ○特に、伝統文化に関する教材が最も豊富で、異なる道徳的価値を扱う教材を組み合わせ配置されており、補充教材も複数用意されている。また、各学年末には、全ての都道府県からゆかりの人物を取り上げ、生徒が地域のために尽くした先人から学び、地域に愛着が持てるよう構成が工夫されている。	○生命尊重、社会参画、いじめ問題、情報モラル、伝統文化、国際理解、キャリア教育、人権等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、コラム「広げよう」や特設ページ「深めたいむ」での体験活動等を関連させて、生徒が自己の考えをより深められるよう構成されている。また、環境、国際理解等の教材は、特設ページとの組み合わせで重点化が図られるなど、よく工夫されている。 ○現代的な課題に多面的に向き合えるよう、複数教材がユニット化されている。特に、「他者と共に生きる社会を思い描く」ユニットでは、他者との関係を、友情から相互理解につなぎ、尊厳死を通して命の大切さを考えたうえで、選挙権を題材によりよい社会の実現について考えるなど、効果的な教材配置で、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。	○生命尊重、いじめ問題、キャリア教育、安全、情報モラル、伝統文化、国際理解、ESD等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、テーマごとに、複数教材とコラムを組み合わせで、学習の重点化及び多面的・多角的な学習の展開が図られているなど、構成が工夫されている。 ○特に、いじめ問題を扱った教材では、直接教材と間接教材を組み合わせ、生徒が多面的に考えられるよう工夫されている。また、知識を深めるコラムとスキルを身に付けるコラムを関連して配置するなど、重層的に学習できるように構成されている。ただし、いじめ認知件数が多いとはいえ、1年生に3か所複数教材が配置されるなどバランスに偏りがある。	○情報モラル、健康教育、防災、福祉、社会参画、伝統文化、国際理解、キャリア教育、ESD等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、生命の大切さを考える教材の複数配置や、情報モラルを考える教材と特設ページ「クローズアップ」などのユニット化など、学習の重点化及び多面的・多角的な学習が図られているなど、構成が工夫されている。 ○特に、情報社会でよりよく生きるための基になる考え方や態度の育成に重点が置かれている。情報モラルの教材は、各学年で発達段階に応じたテーマが設定されており、生徒が3年間を通して体系的に学びを深められるよう配置されているなど工夫されている。	○生命の尊厳、社会参画、自然、伝統文化、情報モラル、防災、キャリア教育、SDG s等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、直接教材と間接教材を組み合わせ重点化が図られたり、別冊ノートの資料や特集ページと併用した学びの深化が図られたりするなど、生徒が多面的・多角的に学習できるよう構成が工夫されている。 ○特に、生命尊重といじめ防止・人権尊重が重点とされている。生命の尊さに関する教材は各学年3時間配当されており、いじめ防止は学術的な資料や身近な中学校生徒会の「いじめ撲滅宣言」の取組を取り上げるなど、生徒自身が自分ごとと捉える中で重層的に学べるよう工夫されている。	○生命尊重、いじめ問題、情報モラル、LGBT、キャリア教育、伝統文化、異文化理解、環境等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。 ○現代的な課題に関する教材について、本教材と特設ページ「もっと知りたい」「話してみよう」等を組み合わせ、生徒が学びを深めながら、多面的・多角的に学習できるような構成が工夫されている。 ○特に、伝統文化に関する教材等が豊富で、特設ページで日本各地の題材を取り上げられるなど、生徒の関心を高めながら、学習に取り組めるよう工夫されている。

【選定の観点5】

生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう、工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 学研	232 あかつき	233 日科
○全学年を通して、人権尊重について認識を深め、多様性を尊重する態度を養う教材が充実しており、山岳少数民族の無形文化を守る取組や、認知症の方が店員として働く店など、人権・福祉の合理的配慮に関わる社会の様々な取組から、生徒がそれぞれの個性や立場を尊重する寛容の精神を身に付け、人権尊重の態度を養えるよう工夫されている。 ○根拠のない噂によりいじめの被害を受けつつも自らを奮い立たせ無実を勝ち取る教材や、差別の中で結婚や出産について考える教材など、生徒にも起こり得ることを基に、悩み葛藤しつつも、真実に向き合い、自他を信じて立ち向かう姿を通して、生徒が人間としての生き方を深く考えられるよう工夫されている。 ○おつりの間違いを指摘しない、つい嘘をついてしまうなど、身近な場面設定で、自分を振り返った後、別の教材につなぎ、複数時間にわたって、ねらいをより深められるよう学習の流れが工夫されるなど、生徒が人間の弱さや醜さに向き合い、よりよく生きることにについて、重層的に考えられるよう工夫されている。	○全学年を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培うことができる教材が重点的に配置されている。生徒の心を揺さぶる、優れた数多くの教材が体系的に配列されており、よりよく生きることや人間の気高さについて考えを深められるよう工夫されている。 ○安心・安全な水によって開発途上国の人々の暮らしを変えた教材や、国境なき医師団、マザー＝テレサに関する教材など、生徒が広く世界に視野を広げ、異なる文化の人との関わりの中で、基本的人権や人間としての尊厳について考えを深められるよう工夫されている。 ○亡くなった父が子どもに残した手紙の教材、震災からの復興をテーマにした教材、震災で母を亡くした少女が強く生きようとする姿からよりよく生きる喜びについて考える教材が、連続して配置されるなど、生徒が人間としての生き方について深く考えられるよう工夫されている。	○全学年を通して、自他の人権を尊重し、人権に関する知識と人権を守る感覚を育む心の育成に重点が置かれている。3年生の教材では、人種等による差別や偏見を取り上げた教材と資料を組み合わせて複数時間取り組めるよう配列することで、生徒が生命の尊さ、人間尊重の精神について深く考えられるよう工夫されている。 ○異文化を持つ人々など、他者との関係を築く際に、互いを尊重し合えることの大切さについて考える教材や、一つの物事を異なる立場から考える教材が配置されており、生徒が他者との関わりの中で、自分の生き方を見つめ直し、人権について深く考えられるよう工夫されている。 ○呵責に悩み続けるプロのフォト・ジャーナリストの姿から、人間としての生き方について考える教材や、各学年の巻末に、著名人からの応援メッセージを掲載することで、生徒が自らの将来に目を向け、よりよく生きることの価値や喜びを感じられるよう工夫されている。	○全学年を通して、人権尊重の精神と生命の尊重を基本に、よりよい社会の実現について考えていけるよう構成されている。関連する教材やコラムをユニット化して重点的に学習できるよう工夫されるなど、生徒が自他の権利の尊重と義務を果たす大切さについて考えを深められるよう工夫されている。 ○人を好きになることについて考える教材の後に「さまざまな性」として、生物学的生、性自認、性指向、性表現について学び、誰もが自分らしくあるために、互いを認めあうことの大切さについて、生徒が深く考え、人間としての生き方を考えられるよう工夫されている。 ○教材として、4コマ漫画「ブッダとシッタカブッタ」が複数掲載されており、ありのままの自分を見つめ、受け入れることの大切さを訴えることで、生徒が悩み、心揺れながら、人間としての生き方について、考えられるよう工夫されている。	○「いのちの教育」を全学年の重点テーマに掲げている。「自分の命」だけでなく、「他者の命」「それらを支える様々な命」など様々な観点を通して考え、また、メンタルトレーニングや自己肯定感などの特設ページも併せ、生徒が自他の生命を尊重し、他者とともによりよく生きることにについて考えられるよう工夫されている。 ○各学年で、「地球と地域の未来のために」「夢に向かって輝く」というテーマユニットで、人権をはじめ、環境、貧困、開発といった様々な問題や課題への取組が紹介されており、生徒が広い視野に立って多様な側面から、よりよく生きることにについて深く考えられるよう工夫されている。 ○「夢の地図を書いてみよう」として、自分の目標を達成するために必要なことを9マスの表にまとめ、できることを具体的に書くことで、生徒が目標に向かって努力することや、生きる喜びや勇気を考えられるコラムが用意されている。	○全学年を通して、生命の尊重、基本的人権、思いやりの心など、生徒の人格の内面的な充実が図れるよう教材や発問が吟味・配慮されている。また、心揺さぶる感動教材が多数掲載されており、生徒がより深く、多面的に道徳的価値について考えられるよう工夫されている。 ○各学年巻末の持続可能な社会について考える特設ページでは、現代社会の変化について考え、異なる文化や価値観を尊重し合うことや、医療がどこまで生と死に関わるかという問題について紹介されており、生徒が基本的人権や人間の尊厳について考えを深められるよう工夫されている。 ○本冊の各教材の後に、先人や著名人の心に残る言葉が紹介されるとともに、別冊ノートの参考資料には、世界人権宣言、人生の目標の世論調査、有名作家の詩などが掲載されており、生徒が前向きに生きるためのヒントや基本的人権の尊重、よりよい社会について深く考えられるよう工夫されている。	○全学年を通して、多様な個性を持つ人間として生徒が社会において自立して生きていくために、自己判断の基盤となる道徳的価値観を形成するため、一人一人のキャリア形成と自己実現の学習と関連した教材や、人権、障害者理解、福祉、人間関係にかかる教材の体系的な配列が工夫されている。 ○「障害者差別解消法」や「合理的な配慮」「インクルーシブ教育」の理念が紹介されるなど、生徒が基本的人権の意識を高め、体系的に学習できるよう工夫されている。また、法やきまりの意義については、多面的・多角的に考えられるよう複数の教材が設定されている。 ○先人・著名人の生き方から生きる勇気や知恵などを感じ、気高さだけでなく、人間の弱さ、醜さを吐露する姿など、生きることの魅力やその意味の深さについて考える教材が数多く掲載されており、生徒が悩みや葛藤、心の揺れなど人間としての生き方について深く考えられるよう工夫されている。

【選定の観点6－1】

系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○各学年で重点項目が設定されており、生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。	○生徒の発達段階や学校の年間行事を踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。	○生徒の発達段階を踏まえ1年を3シーズンに分け、さらに複数教材を組み合わせたユニットを構成する教材配列で、各校の実態に合わせ、年間計画の組み直しや教材の組み替え等が行いにくい面がある。	○生徒の発達段階や学校の年間行事を踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。	○各学年で重点項目が設定されており、生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。	○各学年で重点項目が設定されており、生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。	○教材は内容項目の順に並べられているだけで、年間の流れや生徒の成長過程を踏まえた配列や教材間のつながりを意識した配列とはなっておらず、使いづらい。
○社会科、理科、保健体育科、技術・家庭科、特別活動と関連がある教材が多い。また、各教科等と関連する教材については、教科マークを教材冒頭に付すことで、生徒が他教科の学習内容との関連が想起しやすいよう工夫されている。	○社会科、理科、保健体育科、技術・家庭科、特別活動と関連がある教材が多い。また、環境、国際理解、共生について、より重視した教材が用意されている。	○国語科、社会科、美術科、特別活動と関連がある教材が多い。また、「つなげよう」とする発問を設けることで、生徒が他教材や他教科と関連付けて、学びを広げられるよう工夫されている。	○社会科、理科、保健体育科、特別活動と関連がある教材が多い。巻末の内容項目別教材一覧に教科等との関連が示されており、生徒が他教科等の学習内容との関連が想起しやすい。	○国語科、社会科、理科、保健体育科と関連がある教材が多い。また、他教科との関連を意識しながら、年間指導計画を作成できるように工夫されている。	○国語科、社会科、理科、保健体育科、特別活動と関連がある教材が多い。	○理科、社会科、保健体育科と関連がある教材が多い。
○巻末の「テーマでふり返ろう」で、イラストを用いて教材と現代的な課題との関連が示されている。	○巻頭の「この教科書で学んでいくテーマ」で、イラストを用いて教材と現代的な課題との関連が示されている。	○巻末に設定される「教材別テーマ一覧」で、色別に分けられた見出し一覧表を用いて、教材と現代的な課題との関連が示されている。	○巻頭の「この教科書で学ぶテーマ」で、イラストを用いて、教材と現代的な課題との関連が示されている。	○巻頭の「さまざまなテーマで学ぼう」で、イラストを用いて教材と現代的な課題との関連が示されている。	○巻末に、教材と他教科や教育課題との関わりを示す一覧が用意されている。	○他教科や現代的な教育課題との関わりを示す手立てはみられない。
○小学校での定番教材を配置するとともに、中学校卒業後の進路について考える「職業紹介ページ」が掲載されていることに加え、校種間の接続を意識した教材が配置されるなど、工夫されている。	○1年生の前半部の教材本文は、他の教材より大きい文字を使用するなど配慮されている。また、下級生から上級生になる過程や中学校卒業後の先の進路を意識した教材が配置されるなど、工夫されている。	○1年生の第2教材に小学校との学校生活の違いについて考える教材、各学年に小学校での定番教材が配置されている。また中学校卒業後の進路を意識した教材が採用されるなど、工夫されている。	○教材は「であう」「みつめる」「ひらく」をテーマに小学校から中学校、高校へと発達段階を意識して配列されている。また、3年生では、参政権や公共、キャリア教育に関する教材を多く配置するなど、工夫されている。	○1年生巻頭「考えを深める四つのポイント」で、中学校でも、小学校と同じ道徳科の学習の流れであることを示すことで、見通しを持ち、学習に向かうことができるよう工夫されている。	○1年生は他の学年より大きい文字を使用するなど配慮されている。また、3年生では社会科公民的分野と関連させた教材を配置するなど、生徒の発達の段階に即した教材が系統的・発展的に配置されている。	○1年生巻頭「道徳科って何を学ぶの？」で、中学校での道徳科の学びが、小学校と大きく変わらないことを示すことで、見通しを持ち、学習に向かうことができるよう工夫されている。

【選定の観点6－2】

系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○家庭や地域に関する教材に加え、裏表紙に「保護者の皆様へ」とするメッセージが掲載されるなど、家庭、地域との連携が図られている。	○家庭や地域に関する教材に加え、裏表紙に「先生方・保護者の皆様へ」とするメッセージが掲載されるなど、家庭、地域との連携が図られている。	○家庭や地域に関する教材に加え、巻末の「先生方・保護者の方々へ」とするメッセージが掲載されている。また、各学年巻末の「学びの記録」の自由記述欄には、保護者に感想を書いてもらうよう提案されるなど家庭、地域との連携が図られている。	○家庭や地域に関する教材に加え、巻頭に保護者宛てメッセージが掲載されている。また、別冊ノートの巻末の振り返り記録ページに保護者記入欄が設けられるなど、家庭、地域との連携が図られている。	○保護者への直接的なメッセージ等はないが、家庭や地域に関する教材が配置されている。	○家庭や地域に関する教材に加え、裏表紙に「保護者の皆様へ」とするメッセージが掲載され、学校、家庭、地域との連携が図られている。また、別冊ノートは家庭との連携を図る際に活用できるよう工夫されている。	○保護者への直接的なメッセージ等はないが、家庭や地域に関する教材が配置されている。

【選定の観点7】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	1 7 教出	3 8 光村	1 1 6 日文	2 2 4 学研	2 3 2 あかつき	2 3 3 日科
○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。	○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすい。
○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。	○既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名がふられている。
○文字はユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○文字はユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○文字はユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○文字はユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○文字はユニバーサルフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインに配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインについては明記されていないため、配慮されているかは不明である。
○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。
○再生紙と植物油インキが使用されている。	○再生紙と植物油インキが使用されている。	○環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	○再生紙と植物油インキが使用されている。	○環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	○再生紙と植物油インキが使用されている。	○紙やインキについて、環境に配慮されているか、明記されていないため、不明である。